

小学校・国語科 授業実践アイデア例（6年生）

「聞かせて！あなたの推し！！」（他学年実践付き）

設問 ① 3 (1) (2)

●領域 「A 話すこと・聞くこと」

●評価 思考力・判断力・表現力等



< 出題の趣旨 >

- (1) 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうか。
- (2) 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうか。

●身に付けさせたい力（学習指導要領解説 国語編より）

エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

課題

- ①インタビューは相互のやり取りであるが質問内容の検討が行われず、自分が聞こうとする意図に応じて具体的な情報を聞き出すことができていないのではないか。
- ②「聞くこと」において、話し手と自分の考えを比較して、共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることができていないのではないか。

授業改善案

- ①児童の学習意欲を高める「話題」の設定
- ②インタビューで具体的な情報を聞き出す実践例の提示
- ③低・中・高での系統立てた取組

第1時 見いだす

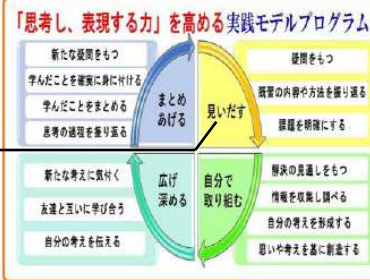
学習の見通し・話題の設定

見いだす

疑問をもつ

既習の内容や方法を振り返る

課題を明確にする



○世の中には色々な推し活があることを確認し、「推し」について、共通理解する。

（自分のおすすめ、好きな人（物）、尊敬する人等）

○自分を振り返り、「推し」について考え、話す準備をする。

○目的を確認し、学習計画を立てゴールまでの見通しをもつ。



授業改善のポイント

- ☆「話すこと・聞くこと」においては、話題が重要になってきます。「話したい」「聞きたい」という必然的な場を設定していくことが大切です。
- ☆『おすすめの○○』や『好きな○○』は、今までにも話題として挙がっていますが、「推し」という言葉を使うことで、「自分にとって特別なもの」という点を強調し、話したいという意欲をかきたてることができると考えます。また、一人一人が特別な思いをもった内容になることから、友達の「推し」について聞いてみたい意欲も高まります。

第2時

自分で取り組む

自分で 取り組む

解決の見通しをもつ
情報を収集し調べる
自分の考えを形成する
思いや考えを基に創造する

情報の収集、内容の検討

思い出しメモ

○自分の「推し」について話したい内容をメモし、整理する。

やっぱり、『トマト』推しだよ。
新鮮なトマトも美味しいけれど、
どんな料理にも合うスペ
シャルな食材だと思う。トマト
ジュースも体にいいね。

私の推しは『パンダ』です。
ぬいぐるみのような感じが
癒されるんですよ。笹を食
べるしぐさも、とてもかわ
いいよね！！

『野球』をするのも見るのも
好きなんだよな。最後に大
逆転することもある、ワク
ワクするよ。



授業改善のポイント

動物
パンダ
ぬいぐるみみたい
癒される



食べ物
トマト
料理に合う
体にいい
栽培しやすい



趣味
お菓子作り
「おいしい」と言わ
れるのがうれしい

スポーツ
野球
大逆転の魅力
達成感
〇〇選手の活躍

☆自分自身について振り返り、「何について話すか」をしっかりと確認することが大切です。「なぜ『推し』なのか」「どうして『推し』になったのか」「『推し』の魅力」についてなど、**メモを取り**項目を立てて考えていくと自分の曖昧であった考えが整理されて、はっきりとしてきます。

第3・4時

広げ深める

新たな考えに気付く

友達と互いに学び合う

自分の考えを伝える

広げ
深める

構造の把握、精査・解釈

知り得た情報は、ノートやタブレットに記入しておく。

○始めに2人組になって互いの「推し」について話をする。互いの考えがよく分かるように、理由やこれまでの経験をたずね合う。

○次に4人組になり、話を聞いた人の「推し」について、話を聞いていない人に伝える。

どうして「推し」
になったのですか。

どんなところが
魅力ですか。



Dさんの「推し」は野球です。お兄さんを見
て……だそうです。

指導のポイント

※今回の目標は「相手の話を詳しく引き出し、自分の考えや経験と比べて聞く」こと
なので、聞く側の様子に焦点を当てて観察する。

※聞く時に困っている児童には「聞き方ヒントカード」を活用するよう助言する。

聞き方ヒントカード ～なぜ「推し」になったのかをくわしく聞き出そう！！～
その1：5W1H（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように）を意識して
その2：自分の経験（「推し」について）と比べて

< 2 人組 >

ぼくは、『野球』を「推し」しています。野球は、小学校3年生の時から習っていて、毎週練習しています。スライディングやフライを取るなど、だんだんできることが増えてきました。



Dさんの「推し」は『野球』なんですね。私の弟が野球を始めたばかりなのですが、小林さんは**どのようなきっかけ**で『野球推し』になったのか、教えてください。

ヒント1

5W1H（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように）を意識して

< 4 人組 >



Dさんがなぜ『野球推し』なのかというと、お兄さんが始めていた野球を見学して、かっこいいと思ったからだそうです。また、最後まで結果が分からないことも野球の魅力です。最後に大逆転をすることもあるので、あきらめない気持ちが大切だそうです。……。

自分も実際に見たり、体験したりして好きになることが多いです。思っていた以上に感動すると、もっと知りたいと思い、どんどん知りたい気持ちが膨らんできて、「推し」になるのだと思います。



第5時

まとめあげる

考えの形成・共有

新たな疑問をもつ

学んだことを確実に身に付ける

学んだことをまとめる

思考の過程を振り返る

まとめ
あげる

ヒント2

自分の経験
（「推し」
について）
と比べて



Dさんの話を聞いて、「お兄さんの野球を見学して、かっこいいから始めた」というところに共感しました。なぜなら、**僕も兄が泳いでいる姿にあこがれて、1年生から水泳を始めたからです。**

Dさんは、野球の魅力は最後まで結果がわからないところで、あきらめない気持ちが大切だと言っていました。僕は水泳の大会で負けてばかりだけど、あきらめずに練習を頑張ろうと思いました。

「推し」ているものは違うけど、**好きだからこそ頑張れるし、好きだからこそもっと知りたくなる気持ちは一緒だった。**お互いに違う「推し」だけど、友達の「推し」の気持ちも大事にしたいし、応援したい。



今回の学習では、友達の「推し」について自分が聞こうとする内容を聞きとり、伝えることが目標でした。私は、Dさんが、どうして野球「推し」になったのかを聞き、他の友達に伝えることもできました。話は、どんどん進んでしまうので、話し合う前に自分が聞きたいことをしっかりとまとめておくことが大切だと思いました。

授業改善のポイント

☆話し合い活動を行うと「話すこと」だけに目を向けてしまいがちですが、今回は、「聞くこと」が学習目標となっています。学習の始めに、目標を確認し、学習内容を焦点化して授業の流れを工夫していくことが大切です。

全学年での学習の積み重ねが大切！！

全国学力・学習状況調査は、高学年の目標に関する問題が多いが、下の表のように全ての学年で系統立てて学習することが重要である。

A話すこと・聞くこと

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
エ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。	エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。	エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

(小学校学習指導要領解説 国語編)

2年生

「しつもん名人」になろう！！



質問をとおして、相手の考えを詳しく聞くために大事なことは何かを考えて、質問することができる。(7時間)

<感想を伝え合う>

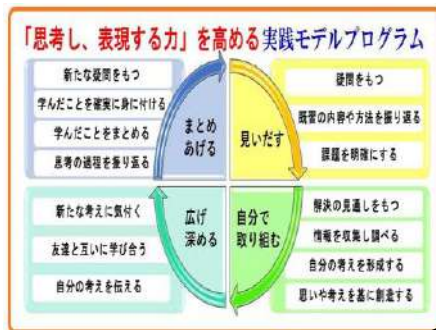
- ・発表を聞き合い、感想を伝え合う。
- ・話す人の考えを詳しく聞くために、どんなことに気を付けたか伝え合う。

<絵やメモを活用する>

- ・「こんなものがあつたらいいな」と思うものを絵にかいてイメージを広げる。
- ・簡単な説明をメモする。

<インタビューに挑戦する>

- ・一人が説明し、もう一人が質問する。はたらきやつくりについて、詳しく聞く。
- ・質問に答えてくれたことはメモをする。



<質問の仕方を確かめる>

- ・どんなことを尋ねれば、友達の考えを詳しく知ることができるのか、質問の仕方を考える。

おもちゃの作り方を説明する学習場面

「あつたらいいな」と思う道具について友達と交流する学習場面

「あつたらいいと思うわけ」「できることは何?」「どんな形?色?大きさ?」



4年生

メモを取る秘訣とは?



大事なことを落とさずに聞くために、メモの取り方を工夫し、自分が聞きたいことの中心を捉えながら聞くことができる。(6時間)

<メモを取ることにについて話し合う>

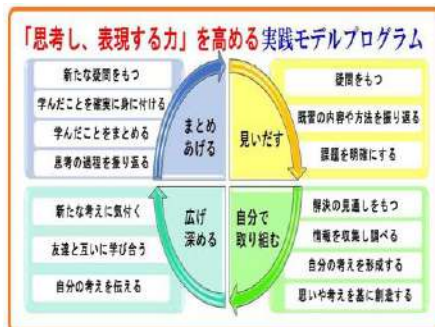
- ・メモの取り方や、工夫について話し合う。
- ・友達のメモと比較し、工夫やよさを伝え合う。

<メモを取る話題と目的を確かめる>

- ・話題や目的を明確にする。
- ・学習の見通しをもつ。

<工夫してメモを取り、発表に生かす>

- ・要点を短い言葉で書きながら、話を聞く。
- ・後で確かめたいことは、印をつけておく。
- ・メモをもとに質問する。



<メモの取り方について考える>

- ・担任が用意した手本から、どのようなメモの取り方がよいか考える。